

村政を問う 一般質問 7

予算編成の方針と重点施策は
観光スポットのひろがり
局長辞任後の観光局体制は
リサイクルセンターは白馬村内に
局長の任命責任は
DCに合わせた2000万円の宣伝費は

はろば
白馬
議会だより
95号

平成23年第1回定例会 1

議決結果 4

私の思い出 12

わたしのこころ 13

学校給食試食会

12月13日 白馬南小学校



行政機構業務開始!!

本会議での質疑

●一般会計補正予算

- *一般会計・特別会計補正予算
- *請願・陳情
- *意見書
- *その他
- *一般質問

4件
6件
2件
5件
6名

することとなり増となったためです。

問

(篠崎久美子) 歳入の在宅福祉事業負担金の減額理由、障がい者福祉費の自立生活体験事業援助費の減額理由、福祉医療費の重度心身障がい者医療給付費の増額理由。

答

(松澤住民福祉課長) 在宅福祉事業負担金の減額は、入所等により配食サービス事業対象者が減となったためです。また重度心身障がい者医療給付費の増額は対象者の中で高額な医療を必要と

●「白馬村情報公開条例」並びに「白馬村情報公開条例施行規則」の改正を求める陳情

(篠崎久美子) 電磁的記録を会議録としたとき、住民の利益についての委員会での検討は。

問

(篠崎久美子) 電磁的記録を会議録としたとき、住民の利益についての委員会での検討は。

答

(松沢貞一総務社会委員長) 情報を知る時間は短縮されるが、個人情報、事務手続及び予算の問題等があり現時点では、比較すると住民の利益にはつながらない。



会津若松市役所にて 11月29日

●子宮頸がんワクチン接種費用への公費補助を求める陳情

問

(篠崎久美子) 現物給付の要望についての委員会での検討は。

答

(松沢貞一総務社会委員長) 関係団体との調整や予算、手続き上の問題から難しい。

本会議での討論

●「白馬村情報公開条例」並びに「白馬村情報公開条例施行規則」の改正を求める陳情

反対討論

(横田孝穂) 地方自治法では、会議録は書面又は録音、録画テープにより作成するとなっており、紙面に印刷して作成されればよいと解釈されます。

賛成討論

(篠崎久美子) 電磁的記録を会議録とすることで、従来よりも迅速な情報公開が期待されます。開示にあたっては住民の権利を守るとともに、節度ある権利の行使が求められるところとす。

平成23年4月 長野県地方税滞納整理

議員研修視察実施報告書

「納税成長戦略」を学ぶ！

1. 視察研修の目的

① 地方分権が推進される中で、二元代表制を敷いている日本の地方自治では議会のあり方が重要になってきている。そこで、先進地である会津若松市議会の運営について研修する。

② 広域合併し、新しい自治体として発足した会津若松市の税の徴収体勢について研修する。白馬村は、税の徴収率では相変わらず県下ワースト1であるが、観光が産業のメインである会津若松市の税の状況を把握して研修する。会津若松市では、市税に係る白書的なものを発行し、優良納税者の表彰や、前納報奨金制度があり、納税意識の高揚に努めている。徴収率向上対策について研修をする。

③ 低迷しているスキー関連産業の中でアルツ磐梯スキー場は、中曽根内閣当時のリゾート法に基づく開発の第1号と言われ、一時は好況を博したが、他のスキー場と同様、低

迷を逃れることはできず、今は、リゾート関係再生事業者として名高い星野リゾートが経営している。その経営理念と戦略は何か実態について研修する。

④ 伝統的建造物群保存地区「大内宿」の観光と保存地区の住民との関係について、観光的要素の強い「大内宿」の実態について研修する。

2. 視察研修実施者

議会議員 10名

3. 視察研修事項及び場所

- ・会津若松市役所
- ・アルツ磐梯スキー場



大内塾にて 11月30日

- ・重要伝統的建造物群保存地区「大内宿」

4. 視察研修日程

平成22年11月29日（月）～30日（火）

5. 視察研修経費

▽収入

公費 25万3380円

自己負担 11万3302円

合計 36万6682円

▽支出

宿泊交通費等 35万4127円

土産品等 1万2555円

（会津若松市役所、アルツ磐梯、他）

合計 36万6682円

6. 研修視察内容

会津若松市は合併後、人口12万7千人、観光客数は昨年345万人の市。今回は主に議会運営と税の徴収対策について研修。平成20年の議会基本条例制定の経緯と現状、政策形成のための手法等の話を伺う。「納税成長戦略」として平成15年度から徴収率向上3カ年計画を策定、現在3期目であるが、ビジョン、方針を明確に掲げて取り組み大きな成果（徴収率は平成16年度89・1%が20年度95・2%）を上げている。また、滞納にあ

たり、職員を長期に配置し専門知識を高め、市民に対する徴収にはきめ細やかにあたっている等の話を伺う。いずれも先進的な改革を実施、それが効果を生み出しており、たいへん参考になり良い研修ができた。

アルツ磐梯スキー場では、観光地として成功している星野リゾートの経営戦略を学んだ。冬のスキー場とホテル、夏のゴルフ場と高速道路サービスエリア出店により通年の雇用が可能になっていた。利益の追求により、「マルチに働く！」ことを社員にもとめ、一人一人に全ての業務がこなせるような教育を行っていた。大内宿には、大変驚いた。朝の8時に着いたが、大型バスが次々と到着し大勢の観光客が訪れていた。街並みの両側には時代を物語る風情が溢れ、お店の人々も朝早くからお茶のサービスや接待に余念がなかった。伝統的建造物を守り観光につなげるため、屋根の手入れ、壁の補修などを地元の奉仕活動で維持していた。

このような審議がありました

総務社会委員会

子宮頸がんワクチン接種 費用補助の陳情一部採択

●一般会計補正 予算

歳入歳出それぞれ885万8千円を増額し、総額を44億1315万8千円とする。

議会費175万円減額、議事録整備のため臨時職員賃金27万3千円、備品費15万5千円増額、長野県議会議員選挙費141万円の増額、税務総務費176万1千円、障がい者福祉費489万9千円の増額など。

問 議会費の備品購入費は、具体的には何か。

答 議事録整備のための機器です。

問 インフルエンザ対策について。

答 高齢者対象の事業。65歳以上の方に3千円の補助。

▽賛成全員で可決すべきものと決定

●「白馬村情報公開条例」並びに「白馬村情報公開条例施行規則」の改正を求める陳情

問 情報公開条例は、村や議会をはじめ、すべての行政機関もあてはまるか。

答 すべて行政機関が該当します。

問 公開までの時間を2カ月より短くする方法は、

答 予算を増やせば短くなる可能性があります。

問 かなりの費用がかかるのではないか。

答 個人情報処理などにはかなりの費用がかかります。

問 障がいのある方への差別という文言が陳情書にはあるが。

答 議事録を読み聞かせるサービスを福祉団体がやっている、時間はかかるが差別には当たりません。

問 ケーブルテレビなどで放送されたことは有効性がないことか。

答 有効性があるかどうかではなく、村では映像や音声は公文書ではありません。

▽賛成少数により不採択すべきものと決定

●ILO看護条約・夜業条約に基づき、医療・介護労働者の大幅増員と夜勤改善を求める陳情

▽賛成少数により不採択すべきものと決定

●子宮頸がんワクチン接種費用への公費補助を求める陳情

問 医療機関においての現物給付とあるが。

答 医師会の同意がなければ難しい。

意見 本当に安全かどうかの疑問視されている。大勢の署名が添付されているが正確に理解しているのか心配である。

TPP協定への拙速な参加に 反対する意見書の提出へ

●一般会計補正 予算所管事項

歳入歳出それぞれ885万8千円を増額するものです。農業振興費で54万8千円、林業振興費で76万7千円の増額、観光総務費で584万円

産業経済委員会

●平成23年度税制改正に関する陳情

▽賛成全員により、標準税率に関する事項を除く、一部採択すべきものと決定

●建設水道課関連所管事項

の減額、観光施設整備費で87万8千円の増額、観光宣伝振興費で120万9千円の減額です。

▽賛成全員で可決すべきものと決定

●下水道事業特別会計補正 予算

施設管理費で120万8千円の増額、公共下水道建設費で120万8千円の減額、公債費で元金に376万9千円の増額、利子で同額の376万9千円の減額であります。

▽賛成全員で可決すべきものと決定

●農業集落排水事業特別会計補正予算

公債費で元金に21万3千円

の増額、利子で同額の21万3千円の減額であります。

▽賛成全員で可決すべきものと決定

●水道事業会計補正予算

収益的支出の予定額を28万円補正し2億7728万円とするものであります。

▽賛成全員で可決すべきものと決定

●国土交通省告示第15号の履行に関する陳情

▽賛成全員で採択すべきものと決定

●最低制限価格の設定に関する陳情

▽賛成少数により不採択すべきものと決定

●発委「環太平洋パートナーシップ（TPP）協定への参加に反する意見書」

地域の状況に合わせ一部変更を求める意見がありました。▽変更を認めることにより、賛成全員で採択すべきものと決定

●議決結果●

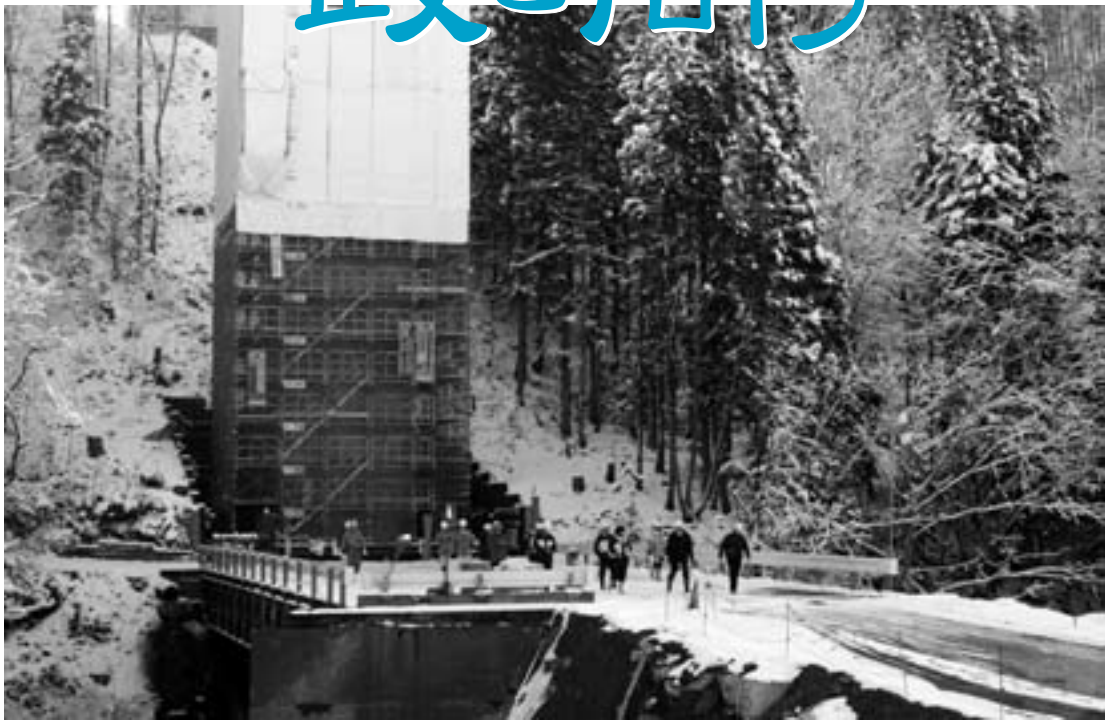
件 名	議決結果
記号式投票に関する条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	承認（賛成全員）
職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	
白馬村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	
一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の専決処分報告について	
白馬村特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	
平成22年度白馬村一般会計補正予算（第4号）	可決（賛成全員）
平成22年度白馬村下水道事業特別会計補正予算（第3号）	
平成22年度白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	
平成22年度白馬村水道事業会計補正予算（第2号）	
環太平洋パートナーシップ（TPP）協定への拙速な参加に反対する意見書	
大系線存続に関する意見書	

●陳情等文書●

提出者	住所	要 旨	付託委員会	審査結果
中村 敬 渡辺 俊夫	白馬村	「白馬村情報公開条例」並びに「白馬村情報公開条例施行規則」の改正を求める陳情	総務社会	不採択 （賛成：篠崎・小林）
長野県建築士事務所協会 会 長 新井 典夫 大北支部長 荒山 行雄	長野市 大町市	国土交通省告示第15号の履行に関する陳情	産業経済	採択 （賛成全員）
長野県建築士事務所協会 会 長 新井 典夫 大北支部長 荒山 行雄	長野市 大町市	最低制限価格の設定に関する陳情	産業経済	不採択 （賛成：篠崎）
長野県医療労働組合 執行委員長 茂原 宗一	長野市	ILO看護条約・夜業条約に基づき、医療・介護労働者の大幅増員と夜勤改善を求める陳情	総務社会	不採択 （賛成：小林）
子宮頸がんワクチン接種費用への公費補助を希望する住民有志 代表 森 君枝	白馬村	子宮頸がんワクチン接種費用への公費補助を求める陳情	総務社会	一部採択 （反対：小林）
社団法人大北法人会 会 長 太田 純雄 白馬支部長代行 立石 逸郎	大町市	平成23年度税制改正に関する陳情について	総務社会	一部採択 （反対：小林）

一般質問 (紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

村 活力ある 村づくりをめざして 政を問う



現場視察（梅池 2 号橋（仮称）） 12月17日



婦人会との懇談会（内容は次号にて） 1月25日

予算問題

問 予算編成の方針と重点施策は

答 1円たりとも税金を無駄にしない



松沢貞一議員

【平成23年度予算編成

について】

方針と重点施策は。

問

村長

方針は、第4次総合計画、地域懇談会等の要望に基づく実施計画を最重要課題とし、徹底した行政改革を行い限りある財源を最大限に活用します。重点施策は、快適で安らぎのある生活環境と、支え合い健康に暮らす地域福祉社会を目指し、優れた資源と人材を生かし活力ある村を築きます。

問

財政の健全化と地域懇談会の要望事項など、地域活性化のための積極的な



有害鳥獣被害対策事業

事業推進とのバランスをどうとるのか。

村長

公債費負担は順調に減少していますが、依然として財政状況は厳しく積極的な投資は難しいです。要望

問

事項は地域間の偏りや緊急性の有無などを考慮し実施していきます。

村長

地域づくり事業を拡大し積極的に支援すべき

村長

予算の総枠は増やせないが、全地区を対象に配慮し支援していきます。

【里山森林整備

事業について】

問

村内の進捗状況は。

村長

平成20年度森林づくり県民税導入により積極的に実施され、森林整備面積は、21年度大北管内で2300ha実施、うち白馬村は183haでした。22年度は、管内で1900ha、うち村は190ha実施予定です。

問

事業の継続について。

村長

県の事業を行った場合、村は標準経費の1割を嵩上げする補助制度を実施し、今後も継続していきます。

【有害鳥獣被害

対策について】

問

被害の実態は。

村長

イノシシ等大型野生動物による農作物被害が増加、拡大しています。水稲では5件65a、被害額38万6

千円。熊による建物侵入もありました。

被害対策は。

問

村長

イノシシ対策を強化し、くくり罠用発信機導入により11頭を捕獲しました。神城地区では2kmの電気柵を設置し、村の電気柵購入補助制度を7件30万円補助しました。

有害鳥獣出没対策として緩衝帯整備を北城地区で森林3ha実施しました。今後も県の補助事業を導入しながら、推進します。

問

村長

猟友会に対する支援は。村は猟友会に有害鳥獣の捕獲駆除を委託しています。今年度は出勤日数換算で440日、昨年度の1・8倍となりました。委託料は時間、人数により積算し、今年度は総額240万円を見込んでいます。猟友会員の高齢化や会員数の減少が懸念されるため、23年度から免許取得や免許更新費用の助成を実施していきます。

観光問題

問 観光スポットのひろがり

答 点と点を繋げ、面の広がりに



太田伸子議員

【賑わいのある村づくり】

問 白馬尻まで中高年の方々が気軽にトレッキングでできるような道路整備の計画は。

村長 中高年層の登山者が多く見受けられることから、歩きやすく、短時間で大雪渓まで行くことができるようになるれば、登山客や大雪渓までのトレッキングの増加に繋がると考えられます。登山道路整備ができればとの想いはありますが、地形的にも困難な箇所でもあり、「治山運搬道」として借地している条件変更や国立公園という区域の

中での規制などクリアすべき課題もあります。

問 白馬には数知れない観光スポットがある。横のつながりを広げ、おもてなしに村全体が一体となることが大切だと思うが。

村長 村にはその恵まれた自然環境のもと素晴らしい観光素材が存在しています。素材を活用し、花で云えばそれぞれ地域が主体となって福寿草、ざぜんそう、かたくり祭が実施され春の花めぐりとして、夏には「白馬花三昧」と題して高山植物、山野草、ゆりなど、村内各所を結んだイベントとして開催しています。

観光振興には村ぐるみでお客様をもてなすことは当然であり、観光に携わる各団体が連携し、点と点を結び、さらに面への広がりにつなげて村を盛り上げて参りたいと考え

ております。

【公共事業について】

問 公共事業は地元業者を活用すべきでは。

村長 原則として指名競争入札により受注者を決定しています。指名業者の決定には村内に本社があることを要件の一つとして選定しています。予定価格250万円以上の土木建築工事の状況であれば、特殊な工事以外は村内業者のみの指名となっています。

問 補助金が交付された工事は地元業者を使うことを条件とすべきでは。

村長 民間の取引に対して村は中立の立場でありま



開山祭（貞逸祭）記念登山 平成22年5月22日 (写真提供：白馬村観光局)

ると補助金の原資が税金であったとしても、適当でないと考えます。

問 資材を地元業者から購入することを指導できないか。

村長 村内業者に限定するとなると村単独で資材単価の調査が必要となり、職員の増員や調査委託料など新たな費用が発生することなどから、妥当でないと考えます。

観光問題

局長辞任後の観光局体制は

答局長人事は白紙



篠崎久美子議員

【観光局について】

問 局長辞任についての見解と、今後の事業方針は。

村長 事業効果が出始めていると思う矢先で残念です。事業は変更無く継続して取り組みます。

問 事業費とした22年度増額予算の執行状況は。

村長 2180万円は新規事業、820万円は総務費及び事業費として執行途中です。

問 増額予算使途変更の説明遅れについては。

村長 行政と局との意思疎通が不十分でした。



図書館受付カウンター

問 信州デステイネーションキャンペーンへの100万円の内容は。

観光農政課長 キャンペーン参加職員旅費、リゾート

問 列車へのおもてなし費用などです。

村長 ビーパルムツクの発刊遅れの理由と、その宣伝費345万円の必要性は。

村長 四季の写真が間に合いませんでした。宣伝費は内容を詰めている段階で変更の可能性もあります。

問 局の窓口対応に指摘を受けている事について

村長 謙虚に受け止めます。

問 来年度事業については。

村長 人事面も含め、未定です。

【図書館について】

問 昼に閉館している開館時間を改善する予定は。

教育長 来年度は、増員し途中閉館を無くす方向です。

問 蔵書、視聴覚資料及び各種サービスの充実については。

教育長 蔵書は不足と考えています。閲覧可能なDVD、CD等はありません。サービスの内容充実には協議会とも検討を重ねてゆきたいと思っています。

問 見えづらい方へのサービスと社協で保有する福祉機器の活用については。

教育長 十分でないとは承知しています。社協とも連携

を取り、早めに対応したいと思っています。

【観光への取り組みについて】

問 「スキー伝来100周年」への取り組みは。

村長 「日本スキー発祥100周年委員会」に村として唯一参加しています。局は事業者等と、今冬「雪を守る運動」としてペットボトルキャップ回収キャンペーンを実施します。各スキー場でも独自に取り組んでいただいています。

問 電動自転車事業の今後

村長 は。ライツビジネス展開のための企業を探しているところですが、進展はありません。

問 公約の山岳リゾート地の基盤整備とは何か、具体的に村民には伝わっていないが。

村長 ハード面に加えソフト面を整備し、顧客ニーズに応え、名実ともに評価される山岳リゾート地の構築であります。

環境問題

問 リサイクルセンターは白馬村内に

答 白馬・小谷に設置しよう調整中



小林英雄議員

【ごみ処理施設建設問題】

問

10月にごみ処理施設検討委員会が提言をまとめましたが、村での住民説明会は、いつどのような方法で行なわれるのか。

村長

11月30日に三日町（大町市）で1回目の住民説明会が行われましたが、まだ結果が出ていません。3市村住民への説明会については、三日町の結果が出た後になります。三市村別々になるか、まとめて1カ所で行うか、まだ決まっています。

問

建設地が大町市に決まった場合、リサイクル



固定資産 宅地基準値

ルセンターは白馬村に造られるのが望ましいと考えますが、また、残渣の受け入れ体制が検討課題になっていることと考えは。

村長

リサイクルセンターについては、白馬・小谷に設置しよう3市村で調整中です。また、焼却残渣については、大町市グリーンパークで埋め立て処理する方向で調整中です。

問

リサイクルセンターや最終処分場が今後の協議次第ということになれば、建設費負担割合の大幅見直しを含め、広域化のメリットがなくなると思うが。

村長

そういうことにならないよう、協議していきます。

【土地の固定資産税】

問

9月議会で土地の固定資産税に疑問を提起した納税者に関する質問をしましたが、引き続き関連質問します。

白馬村では評価額に0.7を乗じたものを課税標準額としているようですが、すべて

の土地に適用されるのか。

村長

課税標準の特例や税負担の調整措置がありますが、調整措置はすべての土地には適用されません。

問

評価額は地価公示価格に0.7を乗じて算出されているのか。

村長

宅地の評価法には市街地宅地評価法とその他の宅地評価法とがあり、当村では後者を適用しています。標準的な宅地を不動産鑑定士等に鑑定してもらい、この鑑定価格の7割を目途に評価額を算出します。その他の土地については、標準宅地との差となる要素を勘案して評価額を算出します。

問

本件の場合、修正案は当初のものに面積要件を追加して算出したそうですが、これは地方税法第417条によるものか。納税者が修正案に承諾していたら、修正案どおりで税額が決定されたのか。

村長

地方税法によるものではありません。また、承諾を求めるものではありません。

観光問題

問 局長の任命責任は

答 不本意であり、残念である



太谷正治議員

【観光局について】

問 局長の退職にともなう、今後の方向性は、

村長 来期の予算決定する時期に入るため、自主的に辞職することになったと思われる。局長も職員には変わりなく、有給はとる権利があり法に定められた期日をとっています。局長も人格を持った個人であり、辞職は一人上の都合であり、大変不本意であり、誠に残念であります。

年俸の800万円にする件についても理事会及び総会で認めていただいたもので、生

活の保障もある。それ以外の金銭は一銭も出してはおりません。局長という役職の立場は、失業保険を受けられませんが、

人材及び運営については、今後局の存続する所まで戻る状態であり、局がなくなってもよいものか危惧するものがあります。

テレビ新聞雑誌等で取り上げられていることは、広告宣伝の相当な金額になると思います。新民宿宣言も時代に対応したものであり、効果はすぐということではないが、出てくると思います。他の地方でも農家民宿という形で展開しているところもあります。局長の不在の期間は私が代行で決済を行います。職務については継続して、他の職員が事業に携わります。

【振興公社の事業について】

問 村で運営している山小屋及びグリーンスポーツ・岳の湯・道の駅の状態と今後の方向性は、

村長 村指定管理者として運営している公の施設について山小屋全体としては、山ガールや夏の天候に恵まれ好調だったものの、7月に大雪渓で落石死亡事故があった影響からキャンセルがあり、期待ほどの伸びには至りませんでした。山小屋の雪害、避難小屋の雪崩による全壊は、いずれも保険が100%適用されました。

山小屋4か所の収支の損益は、1700万円黒字ですが、今後の見通しは非常に厳しく4施設を個々に分割しても委託契約に応じてもらえらる方に運営を任せていきたいと思っています。

岳の湯、グリーンスポーツは、800万円の借地料があり、400万円余りの赤字を計上している状態です。道の駅の駐車場の拡大について、後ろにある温泉の駐車場をとっていますが、賃借に

至っていません。今後は高規格道路計画を見る中で、場所などの検討が必要になると思われます。皆様からのご意見をいただきたい。方向について、3月議会に提案したいと思っています。



道の駅白馬

観光問題

問 DCに合わせた2000万円の宣伝費は

答 今後の発刊を含め、月刊誌紙媒体へ



太田修議員

【観光施策について】

問 DCに合わせた紙媒体内容と効果予測は。

村長 アウトドア雑誌「Fair」1回、ランドネは3

月までのあと2回合計5回BEやBE・PALと3月発刊のムック本の予定です。広告掲載での相乗効果が見込めます。

問 行政と観光局の役割とメリットは。

村長 それぞれが役割を分担し、局が中核となり地域事業者の意見を集約して事業の具現化を図り、相互にメリットを得られるよう連携し

たいと思います。

問 局定款に基づく事業目的で、地場産商品の企画・立案並びに販売の斡旋は、局直轄の飲食店・土産品店の経営は、旅行業法に基づく旅行業及び公社との重複は。

村長 地場産商品は豚カレーや紫米など7品目を首都圏3店舗で販売しています。今後は村内事業者と相談し販路拡大、地産地消の促進など含め検討します。飲食店などの経営施設は無く、今後の計画もありません。体験プログラムやマイスターなど魅力ある商品企画で、旅行者等への提案で誘客を図ります。重複部は公社の在り方を踏まえ検討します。

問 商工会経営改善補助事業への強化は

村長 現行どおり継続します。空き店舗の営業再開に向けたシステムの研究や特産

品事業の推進支援など、来年度予算編成で検討します。

問 白馬小経・きこりの道などの再整備計画は。

村長 さらなる整備を進め観光素材として活用を図ります。

【住民福祉について】

問 住民支え合いマップづくりでの、進捗状況、災害時の要援護者登録申請書の未提出者の扱い、行政区未加入者などの問題点は。

村長 講師を招き6地区（佐野、内山、沢度、堀の内、深空、みそら野）で、自主防災組織と連携した取り組みを進めています。一人暮らし高齢者や障がいのある方など、災害発生時に自力避難の困難者を対象に、申請書の提出を受け、状況の変更に対応しながら、地域の助け合い・支え合いの関係を築いていきます。

行政区加入については、住民福祉課で転入時に説明をするが、個々の価値観の相違から未加入者もいます。積雪寒冷地として先人からの生きる手段で、親戚・仲間・隣人・地

域が助け合い、支え合いでの生活習慣の歴史があり、マップづくりの推進に合わせ是非入区へのご理解を頂きたいと思っています。



特産品展示会（白馬村振興公社主催） 12月26日

私の思い出



白馬町 太田 量三
(元日本軍 衛生伍長)

昭和16年11月20日金沢陸軍病院入隊の召集令状が来ました。(この年12月8日真珠湾攻撃) 当時は軍事機密で見送りを受けることもなく四谷駅を19日の朝一番列車で松本・長野廻りで夕方ようやく金沢に到着しました。金沢で本科教育や、各地で衛生教育を受けたり、病院勤務をしたりして1年で選抜のうえ、上等兵となり新入隊兵の教育をしました。

18年1月21日広島宇品港に廻り輸送船団を組み、人力で食糧資材等を積み込みました。輸送船は、私の乗船した辰羽丸他に暁天丸・新京丸、護衛艦は、駆逐艦藤波と海防艦天草と蔵間。他に海軍の物資を積

んだ船2隻の計8隻で宇品港を1月30日出港しました。瀬戸内海は波静かで星空を見ながら、又いつの日か内地に帰ることが出来るのかと思う内に、船は熊野灘に出ました。この時いきなり敵の魚雷攻撃を受けました。敵は日本の要所々々を潜水艦で塞いでいたのです。我方も爆雷で応戦し敵を追い払いました。

その後一旦別れ別々の港に入った。私の乗船した辰羽丸は千葉の館山港に入りました。翌々日出港し伊豆沖で再び船団を組み南へと向かいます。日本近海は波が荒く船酔いで大変でした。食事をとることも出来ず、積んであった大根に味噌をつけて食べました。

2月17日午前1時頃サイパンの先で暁天丸が敵の魚雷2発を受けました。この為新京丸と駆逐艦藤波が救助に向かい、夜明けを待って救助。辰羽丸は燃料が少ない為に、海防艦2隻と海軍物資を積んだ2

隻でトラック諸島に向かいました。

ところがトラック諸島は、敵の機動部隊艦載機延べ800機の猛攻を受け、午後1時頃我が辰羽丸には、3機来襲その内の1発が当たり、船倉に積んであったダイナマイトに引火、船は7分で大爆発しました。船員は駄目だ駄目だと言いながら船から飛び降りて行きました。

兵士は、退船命令が出ないと退船出来ないため大勢まだ船に残っていました。船はもう2つに折れて居たため、私も30米位の高いところから飛び降りました。その時船尾に積んであった野砲が何かが私の頭に当たりました。鉄兜を被っていたから良かったです。私も船諸共に海中に引き込まれ、息も出来ずに海水を飲み、この時上を見ると少し明るく見えたので是は助かると思ひ、手足をばたかせて居たら海面に出る事が出来ました。浮上して見ると鼻血は出る、口の中は歯が2枚縦に割れて血が出ている、肩から背中が痛い。幸い浮き袋代わり

に船に積んであった青竹が、何本か流れて来たのでそれに掴まって居ると1枚の救助板が見つかりそこには12名ほど居ました。

その後4時間位海に浮いていた駆逐艦の藤波が救助に来てくれました。ボートを降ろして20名位居る所から救助を始めました。私達の集団にも来てくれて救助を始めてくれました。しかし、ずぶ濡れの人をボートに引き上げるには2人や3人では容易には引き上げられず、私も引き上げられてから一生懸命引き上げを手伝いました。その時「作業止め」の号令。あまり暗くなると今度は駆逐艦藤波自体が敵の魚雷攻撃を受けかねないので「助けてくれ」と言う声が薄暗闇の彼方から聞こえますが、船は止まることなく去っていくのです。

ようやくの思いで、トラック諸島の夏島に上陸する事が出来ました。地獄を通って来た思いです。

白馬村老人クラブ 連合会との懇談会

平成22年11月9日(火)ふれあいセンター2階で、老人クラブ連合会と懇談会を開催しました。ごみ処理施設建設や収集の質問。観光産業低迷の打開策を検討する委員会結成。外国人の不動産投機の心配。村全体にもてなしの心がない。道の駅に地場産コーナーがほしい。岳の湯の活用。高規格道路への質問。老人クラブの減少の問題。地域と児童生徒と関わりをもちイジメを地域でなくす、老人福祉施設充実の意見等、様々な意見や質問が出されました。この要旨を行政側に伝えました。

河津町議会 姉妹都市交流会

平成22年12月6日(月)に河津町長と河津町議会の皆さま10名が白馬村を訪れ、交流会を行いました。河津町は、町長も議会も昨年の選挙で変わられたばかりで、お互いの町や村の現状と問題点を話し合いました。

夢、私たちに。 わたしのひとこと



大病を乗り越え

森上 飯島 忠一

平成9年に大病をして、このままだと一年半の命と言われ、途方に暮れましたが、手術も成功し、今年で14年を迎えます。加齢と同時に幾多の病と立ち向かわなくてはいけない年齢になりました。健康管理は、今まで以上にしていきたいと思います。命を頂いた事で何か自分に出来る事が無いかと探し、NPO腹話術友の会に所属して13年目に入りました。

福祉施設の白嶺はじめ、何ヶ所かの施設で、腹話術、沖縄太鼓等を使い活動しています。特に一人ひとり太鼓を叩いて頂く時は、不自由な体でも生き生きとしている姿を見ると、私も感動です。福祉は、多くの人が機会有るごとに、自分が出来る事に携わる事で、明るい環境が出来ると思います。見知らぬ同士が分かち合い良き社会を築く事は大切だと痛切に思います。何時かはお世話にならなければ為らない訳ですから、一人でも多くの方が参画出来る後継の道を拓いて行きたいと思います。益々健康で精進して社会貢献して行きます。



狩猟と有害鳥獣駆除

白馬町 内川 史郎

私は狩猟を始めて35年になります。昔と今では獲物の種類が大分変わってきています。昔は野兎、山鳥、きじ、大きな動物で熊等でしたが、現在は今までいなかった猿、イノシシ、日本鹿等が田畑、野山、また家庭の生ゴミを荒らし、熊にいたっては軒下、土蔵の戸を壊して中の漬物が食い荒らされるという事態が起っています。

私は狩猟人として、有害鳥獣駆除員として1年中この対策に従事しています。狩猟が楽しみで受けた銃砲の許可ですが、年齢とともに駆除員の人数が減り厳しくなっています。狩猟や有害鳥獣駆除の方法を次世代の若者に早く教えていかなければ白馬の野山、耕作地は山の動物によって荒らされ、米や野菜、芋、そば等、農家の人たちが大切に育てる農作物が作れないようになるのではないかと懸念しています。

私達の努力でそんな村にはしたくないと思っています。



子どもの戻れる環境を!

沢渡 遠山 美穂

難病を発症して早9年。3歳だったひとり娘も今年中学入学。早く社会に馴染むようにと年少より保育所入園。同時に保育士として現場復帰をと思っていた矢先の発症。

そんな娘も成長し「お習字がしたい。」と教室に通い始めた。先生はとても寛大で温かく娘の心の拠り所となった。娘に負けじと私も一念発起。通信教育で師範を取得。子ども達の笑顔が見たい為と教室を開講。僅か10人の小さな教室。書道の基礎はきちんと指導する。

しかし私の一番の願いは「子ども達の心を育てること。」子ども達を取り巻く問題、本人家族それぞれの悩み。どこに相談すれば良いのか?思い立ち心理学を学ぶ。書道を通しメンタル面や子ども達の学校での問題等を一緒に考えている。白馬の子ども達は豊かな自然の中で育っている。村にはまだ問題が山積みしているが、「やっぱり白馬で暮らしたい。」と戻って来られる環境を子ども達の為に整えて欲しいと願う。

編集後記

「ハイブリット」、最近特に車や列車などに使われ耳慣れている言葉だが、スキートの指導方法にも取り入れられている。

全日本スキー連盟スキー教程によると、最近主流のカービングスキーの扱いは、「重力」を利用し、最小限の「筋力」で疲労の少ない、つまり省エネタイプの技術指導を目指しているという。

実際にスキースクールの指導者講習に参加してみると、今まで扱いきれなかったスキー板であったが、簡単に滑りのコツをつかめたような気がした。

今年はスキー発祥100周年でもあり、できるかぎり天気のいい日はスキー場に遊びに行こうかと思っている。

田中 栄一

議会報調査編集特別委員会

議長	下川 正剛
委員長	田中 榮一
副委員長	太田 伸子
委員	横田 孝穂
委員	太田 修
委員	小林 英雄
委員	太谷 正治